放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　4年　2月28日　　事業所名　放課後等デイサービス事業所　ぐんぐん

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の状況や活動内容に合わせてパーティション（間仕切り）を使ったり、休憩室を利用するなどの工夫をしています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			施設基準を上回る職員数を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関前の車椅子用スロープやトイレなど、バリアフリーになっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			マニュアル等を整え、全職員が業務改善のための役割を果たすようにしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回の保護者向け評価表の結果を参考にさせていただき、業務改善を図ります。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上等での公開を行っていきます。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施していません。秋田県による実地指導、法人が行う内部監査等を通じて、業務の適正化に努めています。	次年度以降、第三者評価の実施を法人として計画しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修や外部研修を通して、専門知識や職業倫理の習得に努めています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援結果についてモニタリングを行い、定期的に検討して個別支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一されたアセスメントシートをもとに本人状況を確認し、計画立案に役立てています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に話し合いながら活動プログラムを作っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の反応などをみながら、活動プログラムを常に調整しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動時間等に合わせて日課の調整を行っています。季節の行事も組み込むようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人の興味や関心、成長課題を考えながら、個別活動と集団活動を組み合わせて行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			業務開始前に必ず打ち合わせを実施しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			出勤時間がシフト制のため、翌日の職員が揃う時間に振り返りを実施ています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌、個人（ケース）記録について適切な記録と検証に努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援結果についてモニタリングを行い、定期的に検討して個別支援計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			プリント学習や運動、創作活動などできるだけ多様な活動ができるよう配慮しています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所と連携し、児童発達支援管理責任者等が参加しています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			随時行事予定等の情報交換をしているほか、必要に応じて直接面談して情報交換の機会を設けるなどしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療職員の配置がないため、医療的ケアが必要な子どもは受け入れていません。ニーズがあった場合は、同法人の他事業所を紹介等しています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用開始前に、以前利用していた事業所等と情報交換する機会を設けています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて、保護者等の了解を得たうえで他事業所への情報提供などをおこなっています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			県医療療育センターや市の集団療育等の視察研修等を実施しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			活動の一環として児童館や公園などで遊ぶ機会を設けています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			同一施設内にある相談支援事業所等が各種協議会等に参加しており、必要に応じて情報交換ができる体制を整えています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の連絡帳の利用の他、お迎えの際にも状況等をお伝えするようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	○			家庭での状況等について確認しながら、必要に応じて助言等を行っています。次年度以降、ペアレントトレーニング講座の実施を予定しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始時に、重要事項説明書等を用いて説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			家庭での状況等について確認しながら、必要に応じて助言等を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			現在父母の会活動は行っていません。家族も参加する行事を企画していきます。	新型コロナウィルスの感染拡大防止のため本年度は家族参加行事は行いませんでした。今後、感染状況等を見ながら検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付体制を整備し、迅速に対応できる体制を整えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、お便りを発行し、活動の様子等を伝えるとともに、感染症予防に対することなど情報提供に努めています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			法人で定めた個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障がいの特性を理解し、個々に配慮した情報伝達に努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			実習生やボランティアの受け入れや視察や見学等の受け入れを実施しています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル等は整備し、職員に周知しています。保護者には、感染症流行期等に随時お知らせをしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期に避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止対策委員会を設置し、虐待防止のためのチェックリストの活用や、第三者委員へ報告を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			今までのところ実例はありませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合の手順等を定めており、厳格に運用しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用時に保護者からアレルギー等について確認し、必要に応じてアレルギー検査結果等の提供を受けています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例については全支援職員で共有し、防止策の策定と検証を行っています。	